令 和 6 年 9 月 3 日
名 古 屋 地 方 気 象 台

東海地方の天候（令和６年８月）

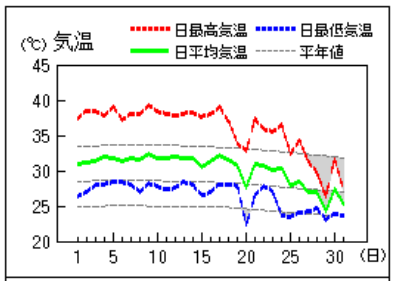
1　概況

上旬と中旬は、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、強い日射の影響を受けやすく、暖かい空気に覆われました。下旬は、湿った空気や台風の影響で曇りや雨の日が多く、三重県で線状降水帯が発生するなど、記録的な大雨となった所がありました。このため、月平均気温はかなり高く、月降水量はかなり多く、1946年の統計開始以降、８月として第１位タイの高温、第１位の多雨となりました。

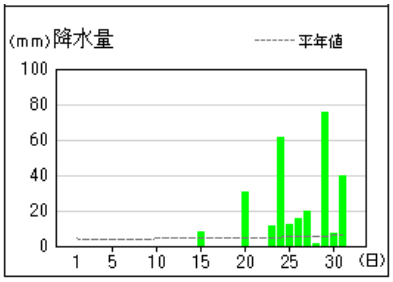
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、旬間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われたことに加え、晴れて強い日射の影響で９日には三重県の桑名で日最高気温40.4℃を観測するなど、旬平均気温はかなり高くなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「多い」となりました。
中旬	太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、旬間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われたことに加え、晴れて強い日射の影響で16日には岐阜県の美濃で日最高気温40.0℃を観測するなど、旬平均気温はかなり高くなりました。湿った空気の影響で旬の終わり頃に大雨となった所もありましたが、旬降水量は少なくなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。
下旬	旬のはじめは太平洋高気圧に覆われて晴れた日がありましたが、中頃からは湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、台風第10号が西日本から東海道沖に進んだため広い範囲で大雨となりました。このため、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多く1946年の統計開始以降、８月下旬として第１位の多雨となりました。また、旬の中頃にかけて暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は高くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「かなり多い」、日照時間は「少ない」となりました。

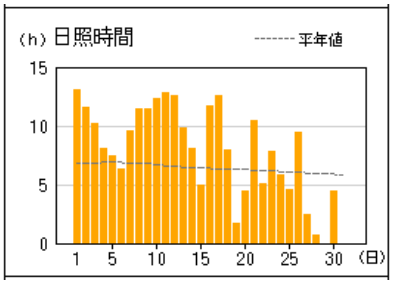
参考　時系列図（名古屋地方気象台）



最高・最低気温(太破線)、平均気温(太実線)と平年値(細破線)℃



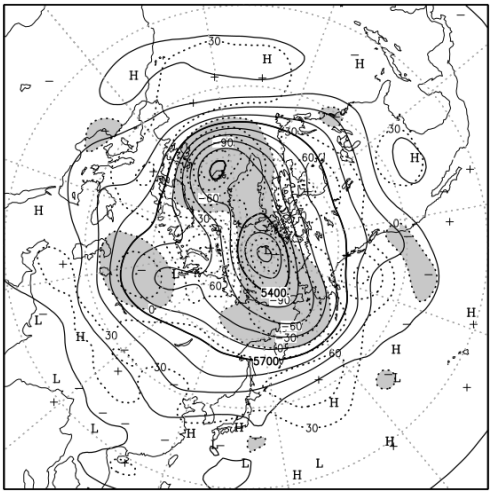
降水量と平年値(破線)mm



日照時間と平年値(破線)h

２　大気の流れの特徴

８月の500hPa天気図（高度・偏差）と解説



等値線間隔　実況（実線）60m、偏差（破線）30m
陰影域は負偏差

500hPa高度は、千島の東を中心に広い範囲で平年より高く、日本海では気圧の尾根となりました。亜熱帯ジェット気流は平年より北を流れやすく、日本付近は暖かい空気に覆われやすくなりました。一方、日本の南東では高度が平年より低い所がありました。

３　各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温 (℃)	(平年差) (℃)	階級	降水量 (mm)	(平年比) (%)	階級	降水日数 ≧1mm	日照時間 (h)	(平年比) (%)	階級
静岡	28.8	(+1.4)	＋*	1071.0	(574)	＋*	15	202.5	(100)	○
浜松	29.1	(+1.3)	＋*	871.5	(687)	＋*	14	211.4	(100)	○
御前崎	28.8	(+2.1)	＋*	675.0	(460)	＋*	11	224.3	(95)	○
三島	28.9	(+1.6)	＋*	457.0	(271)	＋*	14	189.0	(99)	○
石廊崎	28.3	(+2.1)	＋*	205.0)	(164)	＋	12)	224.9	(98)	○
網代	27.9	(+1.5)	＋*	705.5	(379)	＋*	11	206.8	(107)	○
名古屋	30.2	(+2.0)	＋*	282.0	(202)	＋	11	239.1	(119)	＋
伊良湖	29.3	(+1.9)	＋*	421.0	(365)	＋*	8	268.5	(115)	＋
岐阜	30.2	(+1.9)	＋*	268.0)	(158)	＋	11)	252.4)	(125)	＋
高山	26.3	(+1.9)	＋*	97.0	(49)	－*	9	196.6	(111)	○
津	29.7	(+1.8)	＋*	602.0	(417)	＋*	8	270.6	(123)	＋
上野	28.5	(+1.8)	＋*	163.5	(120)	○	11	201.3	(105)	○
尾鷲	28.8	(+2.0)	＋*	719.0	(168)	＋	9	216.7	(121)	＋
四日市	28.9	(+2.1)	＋*	404.0	(254)	＋*	8	252.1	(128)	＋
東海地方	----	(+1.8)	＋*	-----	(305)	＋*	--	-----	(110)	○

注）1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。
2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。
＋:高い（多い）　○:平年並　－:低い（少ない）
各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「＋－」に* を付加した。この場合には以下のように表現できる。
かなり高い（多い）　かなり低い（少ない）
3. 値の横に) や] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。）付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

４　令和６年（2024 年）８月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃	（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	高山	26.3	+1.9	26.2	(2023)	1899	24.4
	伊良湖	29.3 =	+1.9	29.3	(2020)	1947	27.4
	御前崎	28.8	+2.1	28.4	(2023)	1932	26.7
	尾鷲	28.8	+2.0	28.7	(2020)	1939	26.8
	石廊崎	28.3	+2.1	27.8	(2023)	1939	26.2
	四日市	28.9 =	+2.1	28.9	(1995)	1966	26.8
2	名古屋	30.2	+2.0	30.3	(2020)	1890	28.2
	上野	28.5	+1.8	28.8	(2020)	1937	26.7
	津	29.7 =	+1.8	29.8	(2020)	1889	27.9
	浜松	29.1	+1.3	29.7	(2020)	1883	27.8
	静岡	28.8 =	+1.4	29.2	(2020)	1940	27.4
	三島	28.9 =	+1.6	29.2	(2020)	1930	27.3
3	岐阜	30.2	+1.9	30.3	(2020)	1883	28.3

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 ㎜	平年比 %	これまでの最大 ㎜	（西暦年）	開始年	平年値 ㎜
1	浜松	871.5	687	866.8	(1910)	1883	126.8
	静岡	1071.0	574	834.5	(2003)	1940	186.5
2	津	602.0	417	640.0	(1938)	1889	144.5
	御前崎	675.0	460	777.3	(1938)	1932	146.6
	網代	705.5	379	886.9	(1938)	1937	186.0
3	伊良湖	421.0	365	752.5	(1982)	1947	115.5
	四日市	404.0	254	444.0	(1982)	1966	158.8

参考資料　平年並の範囲（東海地方）

８月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.3 ～ +0.5℃	28 ～ 116%	90 ～ 117%
中旬	-0.3 ～ +0.4℃	50 ～ 111%	92 ～ 107%
下旬	-0.6 ～ +0.5℃	45 ～ 137%	90 ～ 120%
月	-0.2 ～ +0.3℃	80 ～ 115%	90 ～ 113%

資料の解説

・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が 10 個ずつになる）ように決めています。また、値が 1991～2020 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。